

## 馬場

馬場は馬を走らせる場所で、春日大社の境内につづく参道沿いにあります。伝統的に、競馬は春日大社の神々をお祀りするための祭の間に行われました。2頭の馬による3回のレースで、馬は常に西から東に向かって走ります。つまり、神聖な三笠山の方角に向かっていているのです。

元々、競馬のコースは、一之鳥居のすぐ東側の橋のたもとからスタートし、距離は500メートルほどでした。当時の競馬の終点は、萬葉植物園への入り口近くの橋のたもとです。コースは春日大社の境内の方向に近くにつれ左右に大きく曲がっています。

江戸時代（1603～1867）の終わりには定期的な開催は取り止めとなりましたが、現在では復興してこの馬場では今でも毎年12月17日に競馬が行われています。これは、春日若宮おん祭を盛り上げるための重要な儀式となっています。